

特別展覧会・市民交流プログラム

「太陽がいっぱい！ ～千葉奈穂子写真展」



《光満つ》2011年 55.5×55.5cm 黒谷和紙にサイアナタイプ

2011年7月23日（土）— 8月21日（日）
月曜休館（ただし8月8日、15日は開館）
鶴岡アートフォーラム ギャラリー2F

このたび、鶴岡アートフォーラムは全国各地で活躍する優れた現代アーティストを紹介する展覧会として、「太陽がいっぱい！ ～千葉奈穂子写真展」を開催いたします。

写真家 千葉奈穂子は、サイアナタイプ（日光写真）という、太陽の光で像を青く焼き付ける初期の写真技法を用いて「記憶」と「場所」をテーマにした作品を発表し、新鋭写真家として全国的な注目を集めています。幼い頃の遊び場、家族の姿、次々と形を変える都市の様子…。それらの「現在」の風景を焼き付けた写真は、観る人の心の奥底に眠る記憶を呼び覚まし、同時に過去から未来へと続く土地やそこに暮らす人の存在について考えさせます。本展覧会では、千葉奈穂子のサイアナタイプによる写真をはじめ、作家自身が鶴岡の街を訪れ、街の人たちとの対話を通じて制作した新作の映像作品など、あわせて約40点を紹介します。また、アーティスト・トークやワークショップなどの関連企画も多く開催し、子供も大人も楽しめる内容となっています。

* 市民交流プログラム…作品展示という従来の展覧会形式にとどまらず、市民とアーティストとの交流を通じて作品世界の理解を深め、さまざまな芸術表現に親しむ機会をつくることを目的とした普及企画です。

展覧会

特別展覧会・市民交流プログラム

「太陽がいっぱい！ ～千葉奈穂子写真展」

【会期】7月23日（土）から8月21日（日）まで

月曜休館（ただし8月8日、15日は開館）

【会場】鶴岡アートフォーラム ギャラリー2F

【開場時間】10時から19時まで（入場は18時30分まで）

【観覧料】一般 300（240）円／高校・大学生 200（160）円／

中学生以下は無料

*（ ）内は20名以上の団体料金

*心身障害者の方は半額、介助者は無料

*高校・大学生には高専生、専門学校生を含む

主催：鶴岡アートフォーラム／鶴岡市教育委員会

後援：山形県／朝日新聞山形総局／河北新報社／荘内日报社／

毎日新聞山形支局／山形新聞・山形放送／

読売新聞東京本社山形支局／さくらんぼテレビ／

テレビユー山形／山形テレビ／エフエム山形



上段—《初梅》2011年 55.5×55.5cm 黒谷和紙にサイアノタイプ

中段—《石と語る》2011年 55.5×55.5cm 黒谷和紙にサイアノタイプ

下段右—《再現・家・わたし》2006年 216.0×302.0×193.5cm インスタレーション

* 図版は岩手県立美術館での展示 会場撮影：いわねゆうき

下段左—《花巻駅の雪》2006年 231.0×105.5cm 成島和紙にサイアノタイプ

展覧会関連企画

(1) アーティスト・トーク

【日時】7月23日(土)、8月6日(土) 各回14時から15時まで

【参加】申込不要、無料(要観覧券) *会場へ直接お越しください

(2) ワークショップ

① 「集まれ!太陽がいっぱいの記念写真」

参加者の集合写真を撮影し、太陽のチカラを使って大きな記念写真をつくります。みんなで協力して完成させた作品は会期中、会場に展示します。

【講師】千葉奈穂子

【日時】7月24日(日) 13時から15時30分(雨天決行)

【対象】どなたでも参加可(小学3年生以下は保護者同伴)

【定員】30名(要申込、先着順)

【料金】300円

② 「贈ろう!光の絵はがき」

お気に入りの写真や身近な小物などを素材に、太陽の光で像を描いて絵はがきをつくります。太陽の光をいっぱいに浴びた絵はがきは、大切な人への夏のあいさつにぴったりです。完成作品は当日お持ち帰りできます。

【講師】千葉奈穂子

【日時】8月7日(日) 14時から16時まで(雨天決行)

【対象】小・中学生(小学3年生以下は保護者同伴)

【定員】15名(要申込、先着順)

【料金】500円

*各ワークショップの参加は7月3日(日)より来館または電話(0235-29-0260)にて申込(受付時間 9時30分から19時まで)

*昨年度のワークショップ「日光写真ってなあに?~太陽が写す手作り肖像写真」の様子



アーティスト・プロフィール

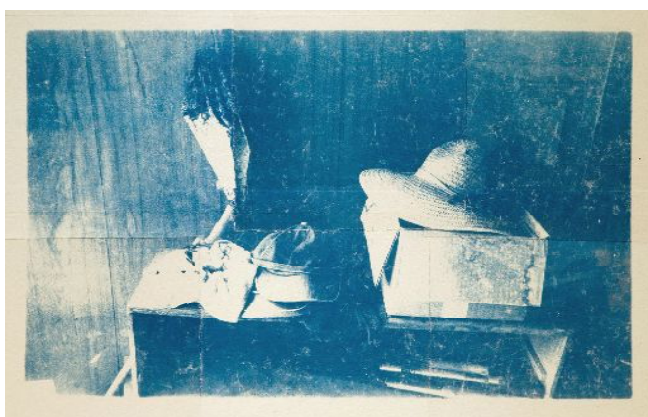
千葉 奈穂子 (ちば・なおこ)



岩手県生まれ。家族の家の撮影を続け、「わたし」という存在を問う作品や、東北の町に暮らす人々の現在の思いや記憶をつづる作品などを中心にサイアノタイプ写真、立体、映像等を用いた作品を発表し、新鋭写真家として全国的な注目を集めている。平成13年度岩手県美術選奨受賞、「センダイアートアニュアル2002」飯沢耕太郎賞受賞。現在、酒田市在住。

出品作品紹介

《麦帽子》2007年 100.0×153.0cm 成島和紙にサイアノタイプ



岩手にある父の実家を撮影した、現在も継続中の「父の家」シリーズの中の1点。自身の身近にあって失われつつある風景や家族の記憶に関するものを、原始的な写真技法によって地元の手漉き和紙に焼き付けた、温かみのある青が印象的な作品。

*掲載において作家顔写真・作品図版の使用を希望される際は、データをご提供しますので、鶴岡アートフォーラムまでご連絡ください。

*千葉奈穂子氏にインタビュー等取材を希望される際は、日時調整しますので、ご連絡ください。

【お問い合わせ先】鶴岡アートフォーラム 担当：平井、小林、栗山

TEL:0235-29-0260(代表) FAX:0235-22-6051

〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町13-3

展覧会期中開催事業

夏休み特別ワークショップ

大平龍一は、木彫を中心に幅広い創作活動を展開し、近年高い評価を得ている彫刻家です。ワークショップでは作家と参加者が一緒に、鶴岡を題材にしたアート作品を制作します。

【講師】大平龍一（彫刻家）【日時】8月21日（日）

